

# TIBET CHARITY LIVE

今回の収益は、チベット問題を多くの方に知ってもらうための映画上映会の開催や配布資料の作成を中心としたSFTJapanの活動費、また若い世代の亡命チベット人が多く住むインドで活動しているSFT Indiaへの支援にあてられます。



テンジン・チョーギャル Tenzin Choegyal <ドラニエン、歌、リンプー>

チベット出身。子供の頃に親に連れられ、チベットを脱出、ヒマラヤの麓、ダラムサラ（インド）で育つ。現在オーストラリア在住。2001年、ダライ・ラマ14世が提唱した「世界聖なる音楽祭2001」（インド・バンガロール）に出演。世界中の音楽イベントに出演。昨年3月米カーネギーホールで開催されたTibet House's 21st Annual Benefit Concertでは Patti Smith、Taj Mahalらと共に。民族楽器「ドラニエン」を奏でながらの優しい歌声はシンプルなメロディーのなかに独特の強烈なバイブレーションを持ち、故郷であるヒマラヤの澄んだ空へと聴衆を誘う。

寺原太郎 <バンスリー>

千葉市出身。1992年より中川博志氏に、1996年よりAmit Roy氏に師事。2006年よりオーストラリア Woodford folk festivalに出演。2007年坂本龍一プロデュース「ロハス・クラシックコンサート」出演。2008年インドのマイハルで開催された「アラウッディーン・カーン音楽祭」に外国人として初めて招聘され好評を博す。2010年テンジン氏と制作したCD「Snow Lion」をリリース。2011年映画「手塚治虫のブッダ〜赤い砂漠よ永遠に〜」で挿入曲を担当。第10回千葉市芸術文化新人賞の奨励賞を受賞。



お話：『Life in Exile』（予定）

テンジン・チョーギャル \* ツェリン・ドルジェ  
(Students for a Free Tibet Japan 代表)

民族的抑圧の続くチベットに生まれ、ヒマラヤを越えてインドに亡命したチベット人テンジン・チョーギャルと、両親がヒマラヤを越え、亡命先で生まれた亡命2世のチベット人、SFT Japan代表ツェリン・ドルジェが、雪の国の故郷チベットについて語ります。

『チベット写真展～笑顔・祈り・大地』



会期：7/1～7/中旬（終了日未定）

チベットに魅せられた人々が必ず口にする「人々の溢れる笑顔」「貴き仏教文化」そして「美しい大地」。それらをテーマにチベットに魅せられた旅人達がおきのワンシーンを持ち寄りました。チベットの魅力を写真を通じて多くの方と共有したく写真展を開催致します。

展示は水～日の11:00～18:00、月・火は定休日のため閉館

イベントについてのお問合せはこちらまで  
sftjcharitylive@gmail.com  
TEL：080-3589-7472



アサバ アート スクエア  
(神奈川県横浜市金沢区金沢町205)  
TEL：045-783-9705

京浜急行 金沢文庫駅から徒歩15分



## Tenzin Choegyal

テンジン・チョーギャル + 寺原太郎



## チベット チャリティーライブ

～音楽、写真、バター茶とお話で知るチベット～

2012.7.14 SAT at アサバ アート スクエア



Open 16:00

Start 16:30 (19:30 終了予定)

Charge 1500円 (バター茶つき) 予約不要 当日受付にてお支払い下さい

主催: Students for a Free Tibet Japan SFTJAPAN

検索